

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（児童発達）		
○保護者評価実施期間	令和7(2025)年12月9日		～ 令和8(2026)年1月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7(2025)年12月3日		～ 令和7(2025)年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8(2026)年2月19		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団療育(定員10名)と個別療育、および専門的支援を実施している。 開設時間が長く（9時間）身辺自立に向けての支援も実施している。また各家庭の都合に合わせて利用時間を調整できる。	個別療育(専門的支援を含む)で発達段階と特性を踏まえた支援、理解の向上とコミュニケーションスキルの向上により、生活が豊かになるよう支援している。 小集団療育で異なる年齢児との関りやそれぞれの役割、社会性やルールの習得を支援している。	活動の種類を増やしたり、その内容を保護者により一層伝わるように報告する。
2	職員の加配や専門職の配置により、充実した支援を実施している	個々の得意を伸ばし、不得意の底上げを図っている。 排泄や食事支援（食具操作の向上）を実施し自立に向けている。 玩具の貸し借りや待つこと、あそびの工夫などを支援している。 朝の会や食事時、個別療育での着席、集中の持続を支援している。	それぞれの支援の充実を図るため、専門性を持って取り組めるよう職場内研修の充実を図る
3	児童一人ひとりの年齢・発達段階と特性に合わせた支援、保護者との情報共有と共通理解のもと支援を実施している	児童一人ひとりの支援方針と具体的な支援内容について、検討・共通理解している。	今後も継続しつつ、日々の児童の変化にも対応できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや研修会の実施に至っていない	ペアレントトレーニングや研修会となると場所や人員の確保が必要。 個々の保護者からの相談に丁寧に対応し、家族支援、子育てサポート支援等を実施することで、現時点で可能な対応をしている。	現在の対応を維持しつつ、外部研修で保護者参加に適している研修がある場合等、案内や情報提供することを検討する。
2	事業所としての地域交流の機会が少ない	利用児童の多くが幼稚園や保育所に所属しており、地域の子どもたちと生活を共にしている。それ以外の機会として公園でのあそび等を増やせるか検討しているが、安全確保のためには人員が必要。	環境の変化に過敏な児童もいるため、配慮しながら可能な範囲で公園遊びを拡大できるよう検討する。 安全確保のためには人員確保が必要。
3	送迎範囲に限りがあり、ニーズに対応できていない	保育・療育と送迎での人員が不足する。 送迎の拡大により、直接保護者と会話による情報交換の場が減少する。 送迎に要する時間により療育時間が短くなる。	ドライバーの確保により範囲の拡大を検討している。 保護者ニーズと療育時間の現状とのバランスを検討する。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年3月1日

事業所名: 児童発達支援 幕張キッズ(児童発達支援)

対象人数(保護者)23人 回答者数 16人 回収 69.6%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	1		外遊びや、運動系の活動がもっと増えると良いと思います	室内でのミニサーキットやリズム体操、マンション公園での遊びを今後も取り入れていく
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		1		加配している。職員からも増員希望の声はあるが経営収支との関係もあり常時検討している。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	15			1		衛生面は常時保てるようにしており、毎日保育終了後の玩具と室内・トイレ消毒および保育時間内にも必要に応じた各消毒を実施している。空気清浄機の設置のほか、ドア開け換気も実施してる。また活動に合わせて机やラグでコーナー分けしたり、絵本の部屋を活用する等可能な範囲で工夫している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	16				こどもの気持ちを尊重し、のびのびと させてもらっているようです。	
	⑥	事業所が公表している支援 プログラムは、事業所の提供 する支援内容と合っている と思いますか。	16					支援プログラムは愛誠会 ホームページにて公表して いるが、周知不足もあるた め、毎年度知らせることを 検討している。
	⑦	こどものことを十分に理 解し、こどもと保護者の ニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発 達支援計画(個別支援計 画)が作成されていると 思いますか。	16					
	⑧	児童発達支援計画には、 児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供 すべき支援」の「本人支 援」、「家族支援」、「 移行支援」で示す支援 内容からこどもの支援に 必要な項目が適切に設 定され、その上で、具 体的な支援内容が設定 されていると思いますか。	16					
	⑨	児童発達支援計画に沿 った支援が行われている と思いますか。	16					
	⑩	事業所の活動プログラ ムが固定化されないよう 工夫されていると思い ますか。	14			2		保護者に報告できてい ない部分もあるため、 HUGでの報告の幅を 広げたり、小グループ 活動や運動・リズム 体操などについての 活動等も増やせるよ うにする。
	⑪	保育所や認定こども 園、幼稚園等との交 流や、その他地域で 他のこどもと活動す る機会がありますか。	3	2	6	5		多くの児童が幼稚園・ 保育所に在籍しており 事業所以外の子ども達 とも過ごし活動して いる。事業所としては 公園で他児と触れ 合う機会を今後も 作る。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3			6	事業所でペアレントトレーニングや研修会の実施があると良いが、場所や人員の確保が難しい現状がある。現在のところは、個々の相談に対応し、家族支援や子育てサポート支援、情報提供している。今後は外部研修等で保護者に案内できるものも含めて検討していく。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15				1	個別支援計画更新時の面談を定期的 に実施、他にも個々の相談に応じて家族 支援や子育てサポート支援を実施して いる。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3			7	兄弟向けイベントの開催は特にやってないと思われる
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				1	迅速に対応するしくみを整備している
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15				1	法人ホームページの施設だより、毎月のおたより、HUG等で発信している。業務に対する自己評価は、ホームページにて公開している。今回も対応の検討後、ホームページにて公表する。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			3		実施している。契約時以降の周知する場については、毎年度始めを検討している
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		3		実施している。今後も不足が無いかが検討し進めていく。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			2		今後も速やかな報告や説明を実施していく。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	16					
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	2		1		今後も児童の表情や行動に注視し、楽しく過ごせるようにするとともに、HUGでのお子さまの様子の報告に幅を広げて伝えていくことで安心して利用していただけるようにする。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	16				コロコロと変わる子供のブームに合わせて、支援内容を添わせてくださり本人のやる気に繋がっています	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		幕張キッズ（児童発達支援）					公表日	2026年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	ラグや机などでコーナー分けしたり絵本の部屋で静かに遊ぶなど配慮している。静かな遊びと動きのある遊びをスペースで分けている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	加配している。送迎に放課後デイのドライバー等協力してもらい可能な範囲で人員を確保している。	日により、幼稚園長期休み中や、マンツーマン対応が必要な児童数、午睡後かしつけ時間帯などには不足を感じる時がある。増員について経営収支と照らし合わせながら検討している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	バリアフリーではないため、段差には職員が付き添うなど安全確保に取り組んでいる。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	壁や床、棚、机、椅子などと、玩具や教材をその時々毎回消毒している。トイレも常時清潔を保っている。空気清浄機の設置の他、ドア開け換気している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0 (未回答1)	毎月の会議や日々の情報共有を実施し、意見を出し合えるようにしている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	毎月の会議や、職員アンケートの実施で機会がある。日々意見を出し合えるようにしている。	会議日以外は常時保育があるため、ゆっくり意見交換する時間を取りづらい。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	法人として検討している。本年度は市の運営指導を受け評価は良好であった。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0				
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	担当者会議にて毎月検討している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	個別支援計画書は常時目を通せるところにファイルされている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	事業所のアセスメントと日々のケース記録、および保護者から提供されるフォーマルなアセスメントにて確認している			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0 (未回答1)	行事や毎月の制作、朝の会の内容など、担当や各々相談のもと立案している。			

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝打ち合わせを実施して支援内容の確認をしている。日々の役割分担については、声を掛け合い、各職員が判断して漏れなく支援できるようにしている。	慣れで決めつけた支援になったり、伝え忘れがゼロではないため各自が意識を高めて取り組む
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1 (未回答1)	打ち合わせの形式ではないが、必要事項や気付いた点を会話で共有したり、スタッフ帳で申し送りしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	遊び、食事、排泄、午睡、運動、個別療育、小集団活動など記録し、また、普段と異なり気になった点なども記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要に応じて連携、または保護者を介して連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	入園・入学前に情報提供書を作成している。その他は、必要に応じて在園中などに連携、または保護者を通して連携している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	情報提供書や電話にて相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0 (未回答1)	研修会などに参加している	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	72%の児童が幼稚園・保育所に在籍している。当所利用時に関わる機会は少ないが、公園で接する機会がある。また、同じマンション内の小規模保育園やマンション管理人を介してマンション行事に参加する機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	個々の相談として対応、家族支援・子育てサポート支援を実施している。また、保護者懇談会にて情報提供など実施している。	家族が参加できる研修会の案内ができるが良い
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0 (未回答1)	契約時と放課後等デイサービス移行時、介護報酬単価変更時等に説明している。	契約後年月が経過している利用児童もいるため、今後は毎年度初めにもお知らせを検討している。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者懇談会を実施、父母の会は無いが必要に応じて交流の間を取り持っている。また、放課後デイ移行後も、HUGを通して保護者と児童発達職員とやり取りできる環境がある。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ホームページの施設日より、毎月のおたより、HUGにて利用日の活動様子や連絡体制、きずなネットで緊急時一斉送信の体制を整えている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	同法人の成人施設で地域住民参加の行事がある。また、事業所パンフレットを区役所に置いたりWAMNETや市の情報により事業運営を開示している。見学の受け入れを実施している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	職場内研修で確認、保護者へは契約時に説明している。	契約後年月が経過している利用児童もいるため、今後は毎年度初めにもお知らせを検討している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	職場内研修で確認、避難訓練を計画・実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者を介して症状や注意点を確認、適宜頓服薬を預かっている。個別ファイルに色別シールを貼り目立つようにしているほか、冷蔵庫等に注意事項を掲示している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	職員会議で確認している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ファイルがいつでも見られるところに保管され意識している。職員会議で放課後デイとも共有し具体的な再発防止策に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	毎年職場内研修で扱っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	肢体不自由児の座位保持ベルトのみである。保護者了承のもと実施している。		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7(2025)年12月9日		～ 令和8(2026)年1月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和7(2025)年12月3日		～ 令和7(2025)年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8(2026)年2月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育(定員10名)と個別学習の実施をしている。	集団療育で幅広い年齢(7歳～18歳)と関わりや役割、社会のルールの習得。 個別学習で発達段階と特性を踏まえた支援、理解を伸ばし、コミュニケーション手段を習得することで生活が豊かになるよう支援している。 月毎にイベント日を設定し、様々な活動を提供している。	活動の内容を拡充させる。 次年度以降も、イベント日を設定し、様々な活動を提供していく。
2	職員の加配により丁寧な支援を実施している。	排泄トレーニングや食事支援(食具の操作)を実施する事で自立に向けて支援している。 遊びの中から他児童との正しい関わり方について、見守りや声かけの支援をしている。	それぞれの支援をより専門性を待って取り組めるよう職場内研修を継続させる。 オンライン研修や外部研修にも参加できるよう促す。
3	自宅や学校までの送迎を実施している。 利用時間が9:00～18:00まで利用できる。	自宅や学校までの送迎を実施している。 事業所周辺の地図を活用し、毎日送迎表を作成する事でスムーズに送迎の実施ができている。	新しく送迎を希望される児童が増えてきており、新しく送迎できる学校が増やせるよう検討する必要がある。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の活動プログラムのバリエーションが少ない	イベントの設定をしたが、内容が偏ってしまった。 今後は、新しい内容を取り入れられるようにしていく。児童の利用時間の短さも課題となった。	イベントを計画し、どの利用児童にも参加の機会を提供できるようにする。
2	室内の環境整備やバリアフリーが不十分	壁紙の汚れ等の環境や、段差や手すりの設置等、バリアフリーに対して不十分である。	次年度の予算に盛り込み計画的に実施していく。
3	ペアレントトレーニングや研修会の実施に至っていない	日々の保護者からの相談に丁寧に対応することで個々の困りごと等には対応している。 保護者懇談会を開催したが、少ない参加率だった。	保護者のニーズを加味しながら、必要に応じ保護者懇談会を引き続き、実施をしていく。 懇談会の中での情報交換や日々の困りごとへの助言・提案も行っていく。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2026年3月1日

事業所名: 放課後等デイサービス 幕張キッズ

対象人数(保護者)36人 回答者数 20人 回収 55.6%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	8				イスや机をこまめに片付けている。コーナー分けや活動内容を工夫して、安全に過ごしやすい環境を作っている。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	20					加配をしている。支援技術の向上を図り、よりよい対応ができるようにする。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	3				トイレに手すりの設置を検討中。段差への対応や児童の特性に合わせた環境を整えていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	3				室内の壁紙をはじめ、可能な修繕を行う。活動に応じコーナー分けなどを行い、過ごしやすい環境づくりに取り組む。引き続き、清掃/消毒を徹底していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	19	1				研修へ参加し、理解を深める。 面談時に支援についての説明をより丁寧 に伝え、確認していく。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、 事業所の提供する支援内容と合っている と思いますか。	18	1		1		年度始めに、支援プログラムを周知する。 個々のニーズに合わせてより柔軟に対 応していく。
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者の ニーズや課題が客観的に分析された上で、 放課後等デイサービス計画(個別支援計画) が作成されていると思いますか。	20					
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等 デイサービスガイドラインの「放課後等 デイサービスの提供すべき支援」の「本人 支援」、「家族支援」、「移行支援」で 示す支援内容からこどもの支援に必要な 項目が適切に設定され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いま すか。	18	2				面談時に確認して向上させていく。 適切な支援計画になるよう課題とニー ズを把握、分析して作成していく。
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援 が行われていると思いますか。	20					
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されな いよう工夫されていると思いますか。	15	5				イベントの日を設定をしたり、同法人の プールを借用し、活動の幅を広げた。 今後も検討や改善をしていく。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、 地域の他のこどもと活動する機会があ りますか。	1	6	6	7		マンション内のイベントの参加。 同法人で実施されている「あいせい祭」 への参加を継続。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1				行事について案内文を早めに周知し、より丁寧に对应していく。 児童発達支援から放課後等デイサービスの利用を継続される保護者には、料金についての説明をより丁寧に行っていく。
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3			3	プログラムとしては提供出来ていないが、個々の相談として対応をしている。 保護者懇談会を実施。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1				共通理解として支援していく。 職員の資質向上を図り、保護者と児童に安心感をもって、利用していただけるようにする。
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	5	1		6	保護者懇談会を開催し、意見交換を行った。 利用頻度、年齢、発達段階、所属先が異なる事、対応する職員数の確保が難しい事等あるが、引き続き検討をしていく。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	3			1	連絡帳の活用や日々の申し送りでの周知、対応の質が向上するようにしていく。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	1			1	今まで以上に、こまめに更新をしていく。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1				引き続き、扱いには十分注意していく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1				マニュアルを周知し、必要に応じ、発送の検討をしていく。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			1		訓練実施を継続していく。 実施した内容についても報告していく。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	18	1		1		安全計画書の設置場所を見やすい場所に変更する。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	17			3		事故が起こった場合は迅速に対応し、細やかな報告をする。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	20					
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20					
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	20					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		幕張キッズ（放課後等デイサービス）		公表日		2026年3月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	テーブルをたたんでスペースを確保したりマットを使用して床で支援するなど工夫している。	こまめにテーブルや玩具を片づけを行う事によりスペースの確保に努める。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	トイレ前に段差や入口の狭さがある。車椅子を使用している利用者にも対応している。	可能な範囲で更に構造化を検討していく。トイレ内の手すりを設置するか検討中。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃・消毒を実施		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	構造上難しい。その中で、児童の特性に応じ、パーティションやカーテンで半個室を作り、集中できる環境を作っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		法人として検討している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	職場内研修や外部研修へ参加。職員へ研修の案内を周知している。	毎月の職場内研修を今後も継続する。	
適切なサポート	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	ミニイベントを設け、職員で協議し、月毎に取り組む内容を決めている。		

× 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	ミニイベントを設ける事で、活動プログラムが固定化されないよう工夫している。 同法人内でプールの借用。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	放課後の時間帯の場合、活動が限られがちであるが、その中で可能な範囲で工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	その日ではないが、職員が揃った時に打ち合わせをしたり、スタッフ連絡帳や、翌日の打ち合わせで共有している。	確認する時間の確保や周知が必要な内容については印刷をかけ、共有を図る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	マンション内のクリスマスイベントや避難訓練に参加している。 ミニイベントでは、外や公園に行く機会を増やし余暇活動の充実を図っている。	地域との交流の機会の提供については、参加機会を更に増やしていけたら良い。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	食べたいおやつを選んだり、発語がない児童に対しては、写真を活用して遊びの内容を決めてもらっている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	保護者を介して連携する機会が多い。 児童発達支援の職員と協力を得て、行った。 必要に応じ連携をしている。	今後も保護者を介して連携を図っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	ほぼ全員が同法人の児童発達からの利用のため、情報共有できている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		研修会への参加等を確保する。 今後も児童発達支援センターのオンデマンドの研修に参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	マンションのイベントへの参加。 地域の他のこどもと活動する機会はなかったと思う（公園に行くことはある） 近くの公園等で関わる機会がある。	適した機会を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	自立支援協議会の案内がないが、他の研修への参加はしている。	自立支援協議会の案内がないが、他の研修への参加を継続していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に簡潔ではあるが伝えている HUGを導入した事で、タイムリーなやりとりができるようになった。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	プログラムとしては行っていないが、個々の相談に対応している。	家族が参加できる研修会の案内ができると良い。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	見学者への対応時に意識して伝えるようにしている。 契約時に書面にて説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者面談を行っている。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者懇談会を開催し、保護者同士で日々の悩みや困っている事について意見交換する場を設けた。	ニーズに応じ、次年度以降も開催を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	月のお便りやなのはな通信、HPの活用。	HPの更新をこまめに行う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	行事等の際、写真掲載がNGのこどもへの配慮として撮る時・選ぶ時ダブルチェックしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	同法人の他事業所で行っている。	近隣から声がかかる事もある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	アレルギーのある児童への対応 アレルギー専用のおやつ表の作成 指示書や薬の保管など、対応しやすく提示	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	作成し業務を遂行している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎月の会議で全職員に周知している。 起きた際に検討(防止策) も行う。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			